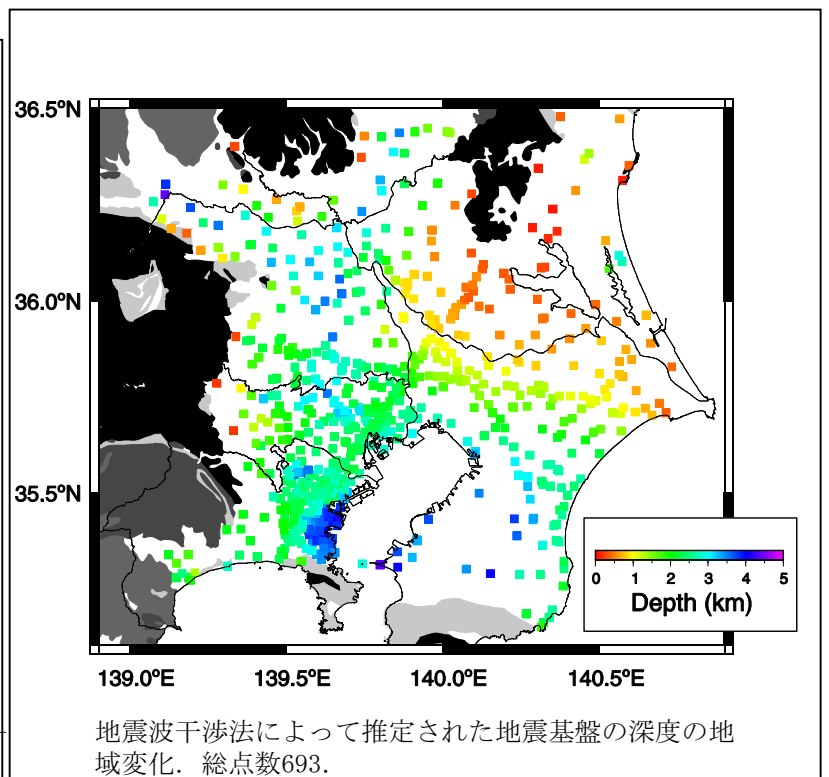
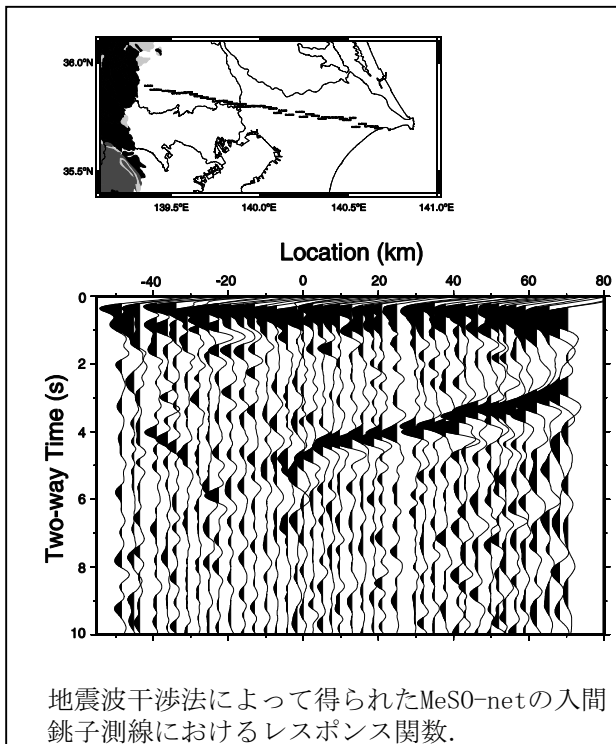


第184回地震予知連絡会重点検討課題 「地震波干渉法」

「地震波干渉法とは」

波動場を異なる2地点で同時に観測した場合、それらの地震波形の相互相関処理を行うことにより、一方を震源、他方を受振点とした場合に観測される波形を合成することができる。この手法を地震波干渉法（相互相関解析、仮想震源法）と呼ぶ。

(名古屋大学 渡辺准教授資料)



(横浜市立大学 吉本准教授資料)